

# 川崎市内でもカエントケに注意！！

「触っても危険！！」  
食べてもダメ、触ってもダメなキノコ

川崎市内で発見されたカエントケと推定されるキノコ



→ の石垣の隙間  
令和3年7月29日撮影

カエントケは、赤い炎のような形をしていることから名づけられたキノコで、枯れた木の根元から発生することが知られています。

カエントケは非常に毒性が強く、触れただけで皮膚の炎症を起こし、誤って食べた場合は死に至ることもあります。

川崎市内でも、カエントケと推定されるキノコが発生しています。



<写真出典>厚生労働省ホームページ 自然毒のリスクプロフィール:カエントケ  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000143427.html>

カエントケは、ナラ枯れの被害木付近に発生することが多いです。  
ナラ枯れは、森林病害虫であるカシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によりミズナラ等が枯れてしまう樹木の伝染病です。  
ナラ枯れは近年、神奈川県内全域で増加しているという報告があります。

！ お子さんやペットなど、カエントケに誤って触らないよう気を付けてください。 ！

川崎市健康安全研究所では食中毒の原因究明検査を行っています。